

科目名	現代の国語	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	現代の国語(大修館書店)							
副教材・参考書	トータルサポート新国語便覧・現代の国語 学習ノート・DONGURI辞書アプリ							
授業の到達目標	主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができるようにする。							
授業内容・進め方	論理的思考力を養う評論、実社会で活用できる多様な実用的文章を取り上げる。質疑応答や小テストを行い理解度を深める。またグループワークを通して他者の意見や考え方の違いを確認し、客観的視点を持てるようにする。小論文は年3回実施する。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【思考・判断・表現】定期考査等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【主体的に学びに向かう態度】振り返り等(自己分析・他己分析)、行動観察							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5:4:1を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	評論「考える技術—考えさせない時代に抗して」(野矢茂樹)					
			評論「設計図を最初に渡せ」(藤沢晃治)【的確に伝える、情報の整理】					
			論述(基本的な文章の書き方、言葉の使い方、わかりやすく書く)・紹介文を書く					
	5月	考査不実施	小論文①					
			評論「水の東西」(山崎正和)【評論文の読み方、対比、具体と抽象、修辭法】					
	6月	/	随筆「インタビューの醍醐味」(永江朗)					
			発表(目的に沿った質問)・インタビュー					
7月	考査実施	一学期の振り返り						
		発表(説得力のある資料を作成する)・プレゼンテーション						
(2学期)	9月	/	発表(説得力のある資料を作成する)・プレゼンテーション					
			評論「動的平衡としての生物多様性」(福岡伸一)【演繹法と帰納法】					
	10月	考査不実施	論述(文章の論理を捉える、構成、接続表現、具体性)・意見文を書く					
			小論文②					
	11月	/	発表(スピーチ原稿の書き方、わかりやすい話し方、伝え方の工夫)					
			発表・1分間スピーチ					
	12月	考査実施	論述(通信文の基本的なルール、推敲、情報の集め方)・通信文作成					
二学期の振り返り								
(3学期)	1月	/	小論文③					
			発表(アイデアの出し方、整理の仕方、話し方の工夫)・討論					
	2月	/	評論「空気を読む」(香山リカ)／「個人」から「分人」へ(平野啓一郎)					
			【複数文章の比較—共通点と相違点、主張の根拠】					
3月	考査実施	一年間の振り返り						

科目名	言語文化	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	大修館書店『言語文化』							
副教材・参考書	新国語便覧・完全マスター古典文法・学習ノート・古典文法ワークノート・DONGURI辞書アプリ・古文単語330・漢文必携・漢文必携チェックノート							
授業の到達目標	言語について、「タテ・ヨコ」のつながりをテーマに学習する。言葉と文化の歴史的な連なりを考える「タテ」の言語文化と、さまざまな地域・国とのつながりを考える「ヨコ」の言語文化。古文・漢文に加えて、小説の名作から言語文化について学び、更には各テーマについて自ら探究する力を養成する。							
授業内容・進め方	教科書を中心に授業を進める。その際、質疑応答や小テストを行い、理解度を深めていく。また、グループワークを通して他者との意見や考え方の違いを確認し、客観的視点を重視する。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【思考・判断・表現】定期考査等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【主体的に学びに向かう態度】振り返り(自己評価・他己評価)、行動観察							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 4 : 1 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月			【古典】古典文法ワークノート◎文法入門・動詞				
	5月	考査不実施		【古典】説話「児のそら寝」(宇治拾遺物語集)◎動詞・形容詞・形容動詞				
				【古典】随筆「をりふしの移り変はるこそ」(徒然草)◎形容詞・形容動詞				
	6月			【古典】漢文『論語』◎返り点・再読文字				
	7月	考査実施		振り返り				
(2学期)	9月			【現代文】『羅生門』芥川龍之介				
				【古典】「蛇足」(戦国策)◎再読文字・反語				
	10月	考査不実施						
	11月			【古典】「門出」(土佐日記)◎助動詞				
				【現代文】『城の崎にて』志賀直哉				
12月	考査実施		振り返り					
(3学期)	1月			【古典】「東下り」◎助動詞・係り結び・接続助詞				
	2月			【古典】万葉集・古今和歌集・新古今和歌集				
	3月	考査実施		振り返り				

科目名	地理総合		単位数	2単位	学年	1年	コース		特別進学		必修		
教科書	『地理総合 世界に学び地域へつなぐ』(二宮書店)												
副教材・参考書	『高等地図帳』・『地理総合 ワークブック』												
授業の到達目標	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システム(GIS)を用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を習得する。												
授業内容・進め方	教科書の内容をふまえたうえで、地図帳や地理情報システム(GIS)などを用いて、汎用的で実践的な地理的技能を習得する授業展開をする。												
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価										
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価										
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする												
授業スケジュール													
(1学期)	4月	/	第1章 地図とGISの活用										
			1 球面上の世界										
	5月	/	2 世界からみた日本の位置と領域										
			3 国内や国家間の結びつき										
	6月	/	4 暮らしのなかの地図とGIS										
			第2章 地理的環境の特色										
	7月	/	1 地形と生活文化										
			2 気候と生活文化										
	(2学期)	9月	/	3 産業と生活文化									
				4 宗教・言語と生活文化									
10月		/	第3章 世界各地の生活文化										
			1 経済発展と生活文化の変化 東アジア										
11月		/	2 宗教の多様性と生活文化 ASEAN諸国										
			3 水の恵みと生活文化 南アジア										
12月		/	4 イスラーム社会の多様性と生活文化 イスラーム圏										
			5 多様な気候と生活文化 アフリカ										
1月		/	6 経済統合による生活文化の変化 EUと周辺諸国										
			7 寒冷な気候と生活文化 ロシア										
2月	/	8 グローバル化による生活文化の変化 アメリカ・カナダ											
		9 土地の開発による生活文化の形成 ラテンアメリカ											
(3学期)	3月	/	10 植民と移民による生活文化の形成 オセアニア										
			第4章 地球的課題と国際協力										
	1月	/	1 地球環境問題										
			2 資源・エネルギー問題										
	2月	/	3 人口・食料問題 4 居住・都市問題										
			第5章 生活圏の諸課題										
	3月	/	1 日本の自然環境と防災										
			2 生活圏の諸課題と地域調査										

科目名	歴史総合		単位数	2単位	学年	1年	コース		特別進学		必修	
教科書	詳述歴史総合(実教出版)											
副教材・参考書	詳述歴史総合徹底整理演習ノート											
授業の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。											
授業内容 ・ 進め方	教科書、ノートを基本とし、プリントを適宜使用する。また、調べ学習・グループ協議・発表・レポート提出などを行う。 授業内容及び進め方に関しては、生徒の実情に合わせて、必要に応じて変更する場合もある。											
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価									
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価									
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価									
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする											
授業スケジュール												
(1学期)	4月	/	歴史の扉									
			第1編 近代化と私たち 第1章近代化への胎動									
	5月	考査不実施	第1章 結びつく世界と日本の開国									
	6月	/	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成									
7月	考査実施	第3章 アジアの変容と日本の近代化										
(2学期)	9月	/	第4章 経済危機と第二次世界大戦									
			第5章 第一次世界大戦と大衆社会									
	10月	考査実施										
	11月	/	第6章 経済危機と第二次世界大戦									
12月	考査実施											
(3学期)	1月	/	第7章 冷戦と脱植民地化									
			第8章 多極化する世界									
	2月	/	第9章 グローバル化と現代世界									
3月	考査実施											

科目名	公共	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	『詳述公共』(実教出版)							
副教材・参考書	『詳述公共マイノート』							
授業の到達目標	現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断する力を養う。 (1)現代社会に対する関心を深める。 (2)政治・経済の動向に関心を持ち、現象の背後にある本質をみぬく力を身につける。 (3)人間とは何かを考え、連帯性を強める未来社会を開拓する手がかりをさぐる。							
授業内容 ・ 進め方	教科書、ノートを基本とし、プリントを適宜使用する。また、調べ学習・グループ協議・発表・レポート提出などを行う。 授業内容及び進め方に関しては、生徒の実情に合わせて、必要に応じて変更する場合もある。							
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価					
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価					
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価					
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5:3:2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	現代の経済社会		(経済の仕組み)			
					(金融の仕組み)			
	5月	考査不実施	日本経済の特質と国民生活		(日本経済)			
					(消費者・労働問題、国民福祉)			
	6月	/	現代国家と民主政治		(民主政治の基本原則)			
					(政治の仕組みと政治制度)			
	7月	考査実施	民主国家の基本原則		(人権の発展)			
			(民主政治)					
(2学期)	9月	/	日本国憲法の基本的性格		(基本的人権)			
					(公共の福祉)			
	10月	考査実施	日本の政治機構と政治参加		(政治機構)			
					(裁判所)			
	11月	/	日本の政治機構と政治参加		(地方自治)			
					(政党政治と政治参加)			
	12月	考査実施	国際政治の動向		(国際政治と国連の働き)			
			(民族問題・国際平和)					
(3学期)	1月	/	国際経済の変化		(貿易・外国為替市場)			
					(国際経済)			
					(SDGs)			
	2月	/	持続可能な社会づくりの主体となる私たち					
					(公共の福祉)			
					(SDGsの実現に向けて)			
	3月	考査実施						

科目名	数学 I		単位数	3単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	数研出版 高等学校 数学 I 数学 II								
副教材・参考書	数研出版 4プロセス 数学I+A 数学II +B+C								
授業の到達目標	社会生活をおくる上で基盤となる数学的な知識を習得し、それらを活用するための基本的な計算や式変形を身につける。様々な現象を数学的に解釈し、思考、創造、表現できるような能力を培う。標準的な大学入試問題や難問にも挑戦できるような応用力をつける。								
授業内容・進め方	(数学 I) 1. 数と式 2. 集合と命題 3. 2次関数 4. 図形と計量 5. データの分析 (数学 II) 1. 式と証明 2. 複素数と方程式 3. 図形と方程式 演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。数学 II の分野を早期学習する。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題								
	【思考・判断・表現】 定期テスト								
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1章 数と式		第1節 式の計算				
					第2節 実数				
	5月	/			第3節 1次不等式				
			第2章 集合と命題						
	6月	/	第3章 2次関数		第1節 2次関数とグラフ				
	7月	/			第2節 2次関数の値の変化				
(2学期)	9月	/			第3節 2次方程式と2次不等式				
			第4章 図形と計量		第1節 三角比				
	10月	/			第2節 三角形への応用				
	11月	/	第5章 データの分析						
			【数学 II】 第1章 式と証明						
12月	/								
(3学期)	1月	/	【数学 II】 第2章 複素数と方程式						
	2月	/	第3章 図形と方程式						
	3月	/							

科目名	数学A	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	数研出版 高等学校 数学A 数学Ⅱ							
副教材・参考書	数研出版 4プロセス 数学I+A 数学Ⅱ +B+C							
授業の到達目標	場合の数、平面図形にふれ、日常生活に数学的な考え方を適用できる事象が多いことを実感できるようにする。それらの基本原理を理解し、活用できるような論理的な思考や直感的な判断力を身につける。標準的な大学入試問題や難問にも挑戦できるような応用力をつける。							
授業内容・進め方	(数学A) 1. 場合の数と確率 2. 図形の性質 3. 数学と人間の活動 (数学Ⅱ) 1. 式と証明 2. 複素数と方程式 3. 図形と方程式 演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。数学Ⅱの分野を早期学習する。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題							
	【思考・判断・表現】 定期テスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	準備 集合					
			第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数					
	5月	/		第1節 場合の数				
	6月	/		第2節 確率				
	7月	/		第2節 確率				
(2学期)	9月	/	第2章 図形の性質 第1節 平面図形					
	10月	/		第2節 空間図形				
	11月	/	第3章 数学と人間の活動					
	12月	/	【数学Ⅱ】 第1章 式と証明					
(3学期)	1月	/	【数学Ⅱ】 第2章 複素数と方程式					
	2月	/		第3章 図形と方程式				
	3月	/						

科目名	生物基礎		単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	新編 生物基礎(数研出版)								
副教材・参考書	サイエンスビュー 生物総合資料、ワーク								
授業の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生命現象への関心を高める。また、生物学の基本的な概念や原理・法則を主体的・協働的に理解し、科学的な見方や考え方を養う。								
授業内容・進め方	ワークと資料集を使い、教科書を補いながら学習する。また、必要に応じてグループワークや発表、実験・観察を行う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査をもとに評価する。								
	【思考・判断・表現】定期考査・レポート等をもとに評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】授業・定期考査の振り返りをもとに評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	授業の説明						
			1章 生物の特徴						
	5月	考査実施	1.生物の多様性と共通性						
			2.エネルギーと代謝						
	6月	/	3.呼吸と光合成						
			2章 遺伝子とそのはたらき						
	7月	考査実施	1.遺伝情報とDNA						
(2学期)	9月	/	2.遺伝情報の複製と分配						
			3.遺伝情報の発現						
	10月	考査実施	3章 ヒトの体内環境の維持						
			1.体内での情報伝達と調節						
	11月	/	2.体内環境の維持の仕組み						
			3.免疫のはたらき						
	12月	考査実施							
	(3学期)	1月	/	4章 生物の多様性と生態系					
1.植生と遷移									
2月		/	2.植生の分布とバイオーム						
			3.生態系と生物の多様性						
3月		考査実施	4.生態系のバランスと保全						

科目名	化学基礎		単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	新編 化学基礎(数研出版)								
副教材・参考書	新課程 新編 化学基礎 準拠サポートノート, 新課程 新編 化学基礎 準拠整理ノート, フォトサイエンス化学図録								
授業の到達目標	化学に関する基本的な概念や原理・法則を理解させるとともに、知的好奇心をもって実験・観察をし、課題の発見、探究、解決する能力を育てる。								
授業内容・進め方	講義と演習を通して基本的な概念の理解を深める。適宜演習実験を取り入れ、興味関心を持たせた上で生徒実験を行い、科学的探究心を深める。また、必要に応じて、意見交換や発表など対話的な学びを取り入れる。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。								
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、探究課題等により評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、提出物等により評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	ガイダンス 授業と評価・化学概論						
			第1編 1章 1. 混合物と純物質						
			2. 物質とその成分						
	5月	考査実施	3. 物質の三態と熱運動						
			2章 1. 原子とその構造						
			2. イオン						
	6月	/	3. 元素の周期表						
			3章 1. イオン結合とイオンからなる物質						
2. 分子と共有結合									
7月	考査実施	3. 共有結合の結晶							
		4. 金属結合と金属							
(2学期)	9月	/	第2編 1章 1. 原子量・分子量・式量						
			2. 物質質量						
			3. 溶液の濃度						
	10月	考査実施	4. 化学反応式と物質質量						
	11月	/	2章 1. 酸・塩基						
			2. 水の電離と水溶液のpH						
3. 中和反応と塩									
12月	考査実施	4. 中和滴定							
		3章 1. 酸化と還元							
(3学期)	1月	/	2. 酸化剤と還元剤						
			3. 金属の酸化還元反応						
	2月	/	4. 酸化還元反応の応用						
3月	考査実施								

科目名	体育(男子)	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	体づくり運動					
			新体力テスト					
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)					
	5月	/	器械運動(マット運動)					
	6月	/	球技 ゴール型 サッカー(パス、ドリブル、シュート)					
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)						
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)					
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)					
	11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)					
	12月	考査実施		球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)				
(3学期)	1月	/	球技 ゴール型 サッカー(ゲーム中心)					
	2月	/	陸上競技(長距離走)					
	3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)					

科目名	体育(女子)	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	体づくり運動					
			新体力テスト					
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)					
	5月	/	器械運動(マット運動)					
	6月	/	球技 ゴール型 サッカー(パス、ドリブル、シュート)					
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)						
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)					
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)					
	11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)					
	12月	考査実施		球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)				
(3学期)	1月	/	球技 ゴール型 サッカー(ゲーム中心)					
	2月	/	陸上競技(長距離走)					
	3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)					

科目名	保健		単位数	1単位	学年	1年	コース		特別進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)											
副教材・参考書												
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。											
授業内容・進め方	健康について単なる知識理解にとどまらず、個人の適正な意思決定や行動選択ができるように、それぞれの単元の主概念を教科書中心に学習する。 基礎基本である知識を身につけ、考えることを主体に展開する。											
観点別評価の方法	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けているか。											
	【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力が養われているか。											
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。											
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする											
授業スケジュール												
(1学期)	4月	/	1章 現代社会と健康									
			1. 日本における健康課題の変遷 2. 健康の考え方と成り立ち									
	5月	/	3. ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 4. 健康に関する意思決定・行動選択									
			5. 現代における感染症の問題									
6月	/	6. 感染症の予防 7. 性感染症・エイズとその予防										
		8. 生活習慣病の予防と回復										
7月	/	/										
(2学期)	9月	/	9. 身体活動・運動と健康									
			10. 食事と健康 11. 休養・睡眠と健康									
	10月	/	12. がんの予防と回復									
			13. 喫煙と健康 14. 飲酒と健康									
11月	/	15. 薬物乱用と健康										
		16. 精神疾患の特徴 17. 精神疾患への対応										
12月	/	/										
(3学期)	1月	/	2章 安全な社会生活 1. 事故の現状と発生要因									
			2. 交通事故の防止の取り組み									
			3. 安全な社会生活									
2月	/	4. 応急手当の意義と救急医療体制										
		5. 心肺蘇生法										
		6. 日常的な応急手当										
3月	/	/										

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	4単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	MY WAY English Communication I 三省堂							
副教材・参考書	MY WAY English Communication I ワークブックAdvanced、Target1400、SDGs英語長文 Think, Share, Act - Core (三省堂)							
授業の到達目標	英語を聞いたり読んだりして情報や考えを的確に理解し、学んだことを基にSpeaking (やり取り・発表)、Writing、Listening をベースとした活動を行う。パフォーマンステスト(ポスターセッションやchrome bookを使った発表等)を通し、自己発信力を培う。週に1度のALTとのTeam-teaching を通し、communicativeな観点からのアプローチを通し、英語運用能力向上、発信力を高める。							
授業内容・進め方	1レッスンを通して聞いたり、読み進めることで概要理解、内容を自分の言葉で英語で表現する活動を行う。関連する英文を多く読み、背景知識の理解や思考力を高め、語彙力強化も図る。ターゲット1400をベースとした語彙学習を日常的に行い、ゆるぎない語彙力の形成を図る。							
観点別評価の方法	【知識・技能】思考、表現に繋げるための知識や技能の定着を定期試験及び各テストで評価する。							
	【思考・判断・表現】自分の考えを適切に英語で伝える力をつけ、定期試験及びパフォーマンステスト等で評価する。							
	【主体的に学びに向かう態度】各単元や学期の振り返り、家庭学習の取り組みや定期試験等で、主体的に学ぶ態度を評価する。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =4:4:2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		Lesson 1 Proverbs Around the World					
			Lesson 2 Iwago Mitsuaki—An Animal Photographer パフォーマンステスト					
	5月	考査実施	リスニングテスト SDGs英語長文 Lesson1 貧困をなくそう, Lesson2 飢餓をゼロに					
			Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space					
	6月		Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh					
			SDGs英語長文 L3 すべての人に健康と福祉を, L4 質の高い教育をみんなに					
7月	考査実施	リスニングテスト 夏休み長文課題						
(2学期)	9月		夏休み長文課題のテスト					
			Lesson 5 Endangered Languages パフォーマンステスト					
	10月	考査実施	Lesson 6 A Wheelchair Traveler SDGs英語長文 L5ジェンダー平等を実現しよう, L6安全な水とトイレを世界中に					
			リスニングテスト					
	11月		Lesson7 The Fugees Lesson8 Avatar Robots SDGs英語長文L7エネルギーをみんなにそしてクリーンに, L8働きがいも経済成長も					
			リスニングテスト					
12月	考査実施	冬休み課題						
(3学期)	1月		Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination パフォーマンステスト					
			Lesson 10 SDGs—Sustainable Development Goals SDGs英語長文L9 産業と技術革新の基盤をつくろう, L10人や国の不平等をなくそう					
	3月	考査実施	リスニングテスト					

科目名	論理・表現 I	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression I Advanced 啓林館							
副教材・参考書	Vision Quest 論理・表現 I Advanced Workbook、Vision Quest 総合英語3rd Edition(参考書)							
授業の到達目標	学習した表現を使い、身近な話題や興味関心のある様々なテーマに関して、自分の意見や感想を論理的に書いたり、発表ができるようになる。							
授業内容・進め方	教科書の文法項目の理解や演習、定着を目標とした言語活動を行う。各单元ごとの英作文の取り組み、ペアワークによるやり取りの練習、自分の意見を論理立てて発表するための練習を行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査、Writing 課題							
	【思考・判断・表現】 定期考査、学期ごとにパフォーマンステストを行う							
	【主体的に学びに向かう態度】 单元ごとの振り返りを行い理解の確認と定着を図る							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月							【紹介】L1 I want to introduce my new friends. (文の種類)
	5月	考査不実施						【学校生活】L2 How about joining our group? (文型と動詞)
	6月							【旅行・観光】L3 I'm planning a day trip this weekend. (時制)
	7月	考査実施						★パフォーマンステスト
	9月							【将来・進路】L5 What do you want to do after high school? (助動詞)
(2学期)	10月	考査不実施						【日常生活】L6 Did you hear about the new shop? (受動態)
	11月							【交流・交際】L7 I'm happy to have you with us. (不定詞)
	12月	考査実施						【スポーツ・健康】L8 What sport do you like playing? (動名詞)
	1月							【メディア・コミュニケーション】L9 Digital media has come a long way. (分詞)
(3学期)	2月							★パフォーマンステスト
	3月	考査実施						【文化・異文化理解】L10 That's why I decided to go back. (関係詞)
	1月							【国際】L11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? (比較)
2月							【社会問題】L12 If I were you, I'd see it as a positive. (仮定法)	

科目名	情報 I	単位数	2単位	学年	1年	コース	特別進学	必修	
教科書	7実教出版 情 I (705) 最新・情報 I								
副教材・参考書	情 I (705) 最新・情報 I 学習ノート								
授業の到達目標	1. 情報の収集・処理・表現, コンピュータやデータの活用, コミュニケーション技能を習得する。 2. 様々な事象と情報の結び付きを捉え, 問題解決に向けて情報技術を適切に活用する力を養う。 3. 情報社会と人との関わりについて理解を深め, 情報社会に主体的に参画する態度を育てる。								
授業内容・進め方	原則として講義を行った後に実習を行うので, 指示された素材を事前に用意しておくこと。また, プリントも配布するのでA4ファイルを各自で用意すること。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期試験, 実技試験, タイピング試験						
	【思考・判断・表現】		課題・作品(プリント・PCファイル), 発表						
	【主体的に学びに向かう態度】		副教材の活用(学習ノート), 問題解決, 授業態度						
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	・情報化が人類に利益と幸福をもたらしていることを学ぶ。						
			・情報の残存性, 複製性, 伝播性など情報の特徴について理解する。						
			・知的財産権の構成, 種類(産業財産権と著作権), 法律, 例外規定を学ぶ。						
	5月	/	・個人情報漏洩の実態や法律を学び, 防止対策を考え提案させる。						
			・メディアの分類とそれぞれの特性, メディアリテラシーを理解する。						
			・情報機器の種類, コンピュータの基本構成(五大装置)について理解する。						
	6月	/	・身近な事例を通しながら, アナログとデジタルの違いを理解する。						
			・2進数とデジタル表現(文字, 音声, 画像, 動画など)の利点を理解する。						
			・コンピュータの起動や終了方法, OS(Windows)の基本操作を習得する。						
	7月	/	・タイピングソフト(MikaType)を用いて, ポジション入力や単語入力を練習する。						
			・文書処理ソフト(Microsoft Word)を用いて, 見やすい文書作成を習得する。						
	(2学期)	9月	/	・表計算ソフト(Microsoft Excel)を用いて, 計算や関数, グラフ作成を習得する。					
・メディア発達史とネットワークコミュニケーションについて学ぶ。									
・IPアドレスやドメイン名, WWW, 電子メールのしくみについて理解する。									
10月		/	・暗号化やファイアウォールなどの技術を学び, セキュリティ対策を考え提案させる。						
			・問題解決の手順や手法を学び, 情報モラルについて問題解決の実践を行う。						
			・授業で学んだ中から情報モラルの課題を選定し, 情報収集と分析を行う。						
11月		/	・プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の基本操作を習得する。						
			・グラフ, アニメーション, SmartArtなどを利用した, 見やすいスライドを制作する。						
			・問題解決の論点(現状の利点, 問題点, 解決案)の確認, 発表のリハーサルを行う。						
12月		/	・スライドを利用した発表を実施, 相互評価と振り返りを行って, 次の機会に活かす。						
(3学期)		1月	/	・文書処理ソフト(Microsoft Word)を用いて, 効率よく文章変換を行う。					
				・アルゴリズムについて学ぶ。					
	・プログラミング言語について学び, 種類とそれぞれの特徴や記述方法を理解する。								
	2月	/	・タイピング練習を通し, 文章を早く正確に入力できるか確認する。(実技試験)						
			・Excel VBAを用いて, プログラミングの実践を行う。						
			・プログラミングの実践を通して, 論理的に考える力を習得する。						
	3月	/							

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	1年	コース	特別進学	必修
教科書	敬天愛人への歩み「敬」のステージ							
副教材・参考書	エナジード Vol.1-2							
授業の到達目標	エナジード教材を通して、他の生徒の感じたこと、考えたことを共有しながら、これからの時代に必要となる「自分で考え、動く力」を身につける。建学の精神『敬天愛人』を読み解き、「敬」のステージ『身近な人をハッピーにする』課題解決型プログラム“InageImage”を通じて地域とも連携し、社会の一員として役に立つことを実感する。							
授業内容 ・進め方	調べて準備し発表する、振り返るということの大切さを理解する。クラスを超えて集まった仲間とともにテーマに向かう、発表する楽しさと、表現するための日本語の大切さを、じっくりわかるように進めていく。また、発表方法の基本の形を身につけていく。							
観点別評価の方法	【知識・技能】							
	【思考・判断・表現】							
	【主体的に学びに向かう態度】							
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝：：を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	11	オリエンテーション週					
		18	【0】クラス開き					
		25	校外学習日					
	5月	9	【1】①導入 なぜ探究活動が必要なのか？①友人のペンケースをデザインして作る					
		16	②友人のペンケースをデザインして作る					
		23	中間考査週					
		30	③友人のペンケースをデザインして作る					
	6月	6	【2】エナジードVol.1 Lesson 00 未来をつくる3つの力					
		13	エナジードVol.1 Lesson 01 感覚的に気づく力					
		20短	エナジードVol.1 Lesson 02 原因から発案する力					
		27	エナジードVol.1 Lesson 03 巻き込み実現する力					
	7月	4	期末考査週					
		11短	エナジードVol.2 Lesson 01 捉え方を変える力					
(2学期)	9月	5	敬学祭準備日					
		12	【3】InageImage ①全体会					
		19	データサイエンスへのいざない					
		26	②グループ開き					
	10月	3	③グループでミッションについて探究					
		10	④協力団体来校しミッションの確認					
		17	中間考査週					
		24	⑤グループ探究					
	11月	31	⑥ ”					
		7	⑦ ”					
		14	⑧中間発表(協力団体への第一提案)					
		21	⑨グループ探究(フィードバックを受けて)					
	12月	28	⑩ ”					
5		⑪冬期休業中の活動計画作成						
(3学期)	1月	9	⑫発表準備(発表方法と役割確認)					
		16	入試業務日					
		23	⑬発表準備(発表方法と役割確認)					
		30	⑭2学年より1学年へ発表会					
	2月	6	⑮発表準備(発表方法と役割確認)					
		13	⑯最終発表					
		20	⑰決勝戦					
		27	⑱InageImageおよび総合全体振り返り					